

地域介護の拠点に！

地域包括支援センターを開設しました

高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で安心して自立した生活が持続できるよう、地域介護の拠点となる「地域包括支援センター」が4月1日、市役所内に開設されました。

主な仕事は・・・

■相談窓口機能

高齢者や家族、地域住民の方からの介護や福祉に関する総合的な相談への対応や支援を行います。



する方への介護予防ケアマネジメントを行います。

■包括的・継続的ケアマネジメント支援

市、関係機関との調整や、ケアマネジャーの支援などを行います。



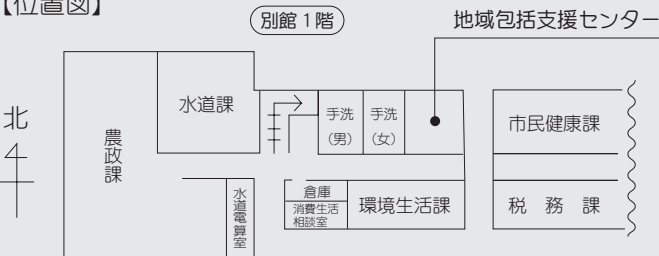
地域包括支援センターが事業を実施していくためには、地域のネットワークをつくることが大切です。老人クラブや民生委員・公民館・住民団体・健康センター・病院・各種福祉施設と協力しながら、総合的に取り組んでいきたいと思えます。

市民の皆様が早く親しまれるよう努めたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

地域包括支援センターは、市役所福祉事務所地域包括支援センター係として、市役所別館1階に開設しています。(下図参照)お気軽にご相談ください。

枕崎市地域包括支援センター
TEL 7211111
内線 461-463

【位置図】



子どもの健やかな成長を願い 市役所にかつおのほり掲揚

枕崎の水産業の発展祈願で、5月4、5日開催のかつおまつりを盛り上げようと4月27日、市役所正面玄関前にかつおのほりを掲揚しました。かつおのほりは、親かつお、子かつお、豆かつおの三種類で合わせて30匹。掲揚には、枕崎小学校一年生26人が参加しました。

はじめに市長が児童たちに、「枕崎はカツオのまち。みなさんもカツオのように元気に育ってください」とあいさつ。児童たちは、のほりのついたロープを小さな手で力いっぱい引っ張って、「こいのほり」の歌を歌いながら、元気にかつおを泳がせました。



認知症になつたり身体が衰えたりしても自分らしく生活を送りたい

自分の身の回りのことは自分でできる状態をいたい

住み慣れた地域で安心して福祉介護サービスを受けたい

悪質な訪問販売などが心配



- 介護予防ケアプランの作成、介護予防事業の推進
- ① 新予防給付ケアプラン作成
介護保険で要支援1・要支援2と認定された方へ、新予防給付のケアマネジメントを行います。
- ② 介護予防ケアプランの作成
現在は介護サービスを利用しなくてもよいが、要支援にならないように「介護予防事業」の利用を必要と



子どもたちをよるしくお願ひします。転入教職員研修会

平成18年度転入教職員研修会が4月14日、市民会館で行われ、市内の小・中学校に赴任された38人が参加しました。はじめに、市内の主要施設の視察が行われ、市役所をはじめ、薩摩酒造明治蔵やお魚センターなど30か所を見学しました。

研修会では、転入教職員を代表して別府小の福山成昭校長が「早く枕崎に慣れて頑張りなさい」とあいさつ。転入教職員の紹介のあと、市漁協の白窪義広総務部長が市の基幹産業である水産業について説明しました。また、「枕崎ぶえん鯉」や「茶節」の試食も行われ、先生たちは枕崎自慢の味を楽しみ、研修を終えました。

生涯学習フェスティバル表彰団体・表彰者の紹介

3月12日に開催された平成17年度生涯学習フェスティバルで、青少年の健全育成や地域に貢献された団体や個人が表彰されました。

- 【表彰団体・表彰者】※敬称略
- ① 青少年健全育成成功団体
・立神小学校マーチングバンド
- ② 青少年健全育成成功功労者
・神園正文(49・中町・左写真)
- ③ 優良社会教育功労団体
・湯の花会(湯穴老人クラブ)
- ④ 優良社会教育功労者
・寺前次郎作(84・西本町)
- ・田野尻チミ(84・新町)
- ・今給黎満(76・岩崎町)
- ・折口照和(73・寿町)
- ・白澤宗天(76・白沢東町)



「もつ」一度よく見て渡ろう手をあげて」春の交通安全運動

「春の交通安全運動」が4月6日から15日まで全国的に展開されるにあたり、初日の6日、春の全国交通安全運動広報隊の出発式が枕崎警察署で行われました。

今年「子供と高齢者の交通事故防止」を運動の基本に、警察と行政が一体となって、通園、通学時間帯の街頭での交通安全指導を行いました。近年、高齢者の交通事故が全国的に増加しており、本市でもここ数年高齢者が犠牲となる痛ましい事故が発生しています。運転手だけでなく、歩行者も十分気を付けましょう。

